

ブックトラックを 福島県と宮城県 の図書館に 寄付しました！



被災地の図書館や公民館では、ブックトラックが不足しています。このたび、キハラ株式会社さんよりsaveMLAKがブックトラックを50台受贈しました。この50台を福島県と宮城県の公共図書館にそれぞれ25台ずつ寄贈することとし、受入先については福島県立図書館の吉田和紀さんと宮城県図書館にの熊谷慎一郎さんをお願いして県内の公共図書館や公民館に照会していただきました。2012年9月25日から26日にかけて、saveMLAKがキハラ株式会社から受贈したブックトラック50台を運ぶ、「ブックトラック・キャラバン隊」が東京を出発し、福島県を通過して宮城県へと北上しました。

写真1は東京、キハラ株式会社本社を出発するキャラバン隊。福島県に入りました。白川市立図書館前で(写真2)。宮城県では、七ヶ浜町中央公民館から始まって順に公民館などを回っていきました。どこの館でも大歓迎を受けました(写真3)。



写真1: 出発するキャラバン隊

「このたびはsaveMLAKにお世話になりました。ありがとうございました。」

キハラ(株)の皆様には本当に感謝しております。

どこへ行っても感謝しているという声は聞かれます。たまたま打ち合わせに訪れた館では、職員が「明日来る！」と楽しみにしていました。」

熊谷慎一郎さん (宮城県立図書館)

「saveMLAKプロジェクト 様

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは、福島県内の図書館、公民館 15施設に対し、合計25台のブックトラックをご寄贈賜わり、誠にありがとうございます。

さて、震災から1年7か月が過ぎ、福島県内におきましても、以前と変わらぬ図書活動が行われております。しかしながら、人口の減少や社会状況の変化などから、震災以前の利用は見られておりません。また、原発事故に伴う避難自治体では、活動再開の目処さえつかない状態が続いております。このような状況にあって、図書環境の整備を進めてまいりますことは、当該施設の活性化だけでなく、福島県内の図書活動の推進、さらには、当県の復興につながっていくものと思っております。

今後とも、当県の図書活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。御礼のご挨拶といたします。」

篠木敏明さん (福島県立図書館長)



写真2: 白川市立図書館
福島県



写真3: 七ヶ浜町中央公民館
宮城県

大河原駅前図書館	松島町勤労青少年ホーム図書室
大郷町中央公民館	村田町歴史みらい館
女川町つながる図書館	山元町坂元公民館図書室
川崎町公民館	山元町中央公民館図書室
色麻町公民館	涌谷町涌谷公民館
七ヶ宿町公民館	涌谷町麓岳公民館
七ヶ浜町中央公民館	気仙沼図書館唐桑分館
大和町公民館	石巻市図書館
富谷町富谷中央公民館	

福島市立図書館	塙町立図書館
二本松市立二本松図書館	矢祭もったいない図書館
郡山市中央図書館	西郷村教育委員会
須賀川市立図書館	北塩原村公民館
鏡石町図書館	南会津町図書館
小野町ふるさと文化の館	下郷町教育委員会
石川町公民館	檜枝岐村公民館
白河市立図書館	